

2019年度事業報告

自 2019年4月 1日

至 2020年3月31日

I. 概況

1. 全体景況

政府発表によれば、2019年度の我が国経済は、海外経済の減速等を背景に外需が弱いものの、雇用・所得環境の改善等により、内需を中心に緩やかに回復している。2019年10月に実施した消費税率の引上げに当たっては、経済の回復基調に影響を及ぼさないといった観点から、軽減税率制度や臨時・特別の措置など各種の対応策を実施している。

今後についても、緩やかな回復が続くことが期待されるものの、消費税率引上げ後の経済動向を引き続き注視するとともに、台風等の被害からの復旧・復興の取組を更に加速し、あわせて米中貿易摩擦など海外発の下方リスクによる悪影響に備える必要がある。

こうしたなか、政府は、「15か月予算」の考え方で、災害からの復旧・復興と安全・安心の確保、経済の下振れリスクを乗り越えようとする者への重点支援、未来への投資と東京オリンピック・パラリンピック後も見据えた経済活力の維持・向上を柱とし策定された「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」（以下、「総合経済対策」という。）に基づき、予備費を含めた2019年度予算、2019年度補正予算及び2020年度の臨時・特別の措置を適切に組み合わせることにより、機動的かつ万全の対策を講じ、当面の需要喚起にとどまらず、民需主導の持続的な経済成長の実現につなげていくこととしている。

物価の動向をみると、原油価格の下落の影響等により、消費者物価（総合）は前年比で伸びが低下している。

この結果、2019年度の実質国内総生産（実質GDP）成長率は0.9%程度、名目国内総生産（名目GDP）成長率は1.8%程度と見込まれる。また、消費者物価（総合）は0.6%程度の上昇と見込まれる。

（出典：令和元年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度、2020年1月20日閣議決定）

2. 鑄造業界の動向

- （1）鑄造業の2019年の生産金額（ダイカストを除く）は、1兆3,602億円で対前年比4.7%減、同じく生産量も427万トンで同5.4%減となり、金額、重量ともに3年ぶりに減少した。
- （2）代表業種である鋳鉄鑄物の生産金額は、7,967億円、同3.6%減で再び8千億円を割り込んだ。生産量も332万トン、同5.4%減となり、金額、重量ともに3年ぶりに減少した。鋳鋼も生産金額が1,332億円、同7.7%減、生産量が153千トン、同8.8%減と、金額、重量ともに3年ぶりに減少した。
- （3）非鉄金属鑄物（ダイカストを除く）は、銅合金鑄物の生産金額が885億円、同6.6%減と再び減少、生産量も70,885トン、同4.9%減となり9年連続して8万トンを下回った。また、アルミニウム鑄物も2,968億円、同5.1%減で3年ぶりの減少、生産量は437千トン、同3.6%減で6年ぶりに減少した。この結果、2019年の全生産金額（ダイカストを含む）に占める非鉄鑄物比率は、

50.9%となり、4年連続して50%を超えている。

表1. 鑄造品の生産額推移

単位：億円、（ ）：対前年比%

年	鋳鉄鑄物	鑄 鋼	銅合金	アルミ鑄物	精密鑄造品	ダイカスト
2000	9,055 (102.1)	1,377 (109.7)	700 (99.5)	2,888 (103.2)	471 (117.4)	4,655 (106.3)
2005	9,130 (107.5)	1,434 (117.2)	823 (98.7)	2,791 (107.3)	463 (105.5)	6,000 (108.9)
2010	8,509 (125.7)	1,367 (103.0)	958 (114.1)	2,631 (126.9)	514 (118.4)	5,765 (130.0)
2013	8,276 (97.5)	1,288 (100.6)	877 (91.4)	2,717 (99.0)	519 (102.4)	5,687 (98.0)
2014	8,385 (101.3)	1,200 (93.2)	952 (108.6)	2,821 (103.8)	565 (108.9)	5,874 (103.3)
2015	8,198 (97.8)	1,183 (98.6)	966 (101.5)	2,850 (101.0)	539 (95.4)	5,848 (99.6)
2016	7,489 (91.4)	1,177 (99.5)	894 (92.5)	2,812 (98.7)	483 (89.6)	5,746 (98.3)
2017	7,841 (104.7)	1,331 (113.1)	892 (99.7)	2,968 (105.3)	472 (97.7)	6,103 (106.2)
2018	8,268 (105.4)	1,443 (108.4)	948 (106.3)	3,129 (105.4)	489 (103.6)	6,409 (105.0)
2019	7,967 (96.4)	1,332 (92.3)	885 (93.4)	2,968 (94.9)	451 (92.1)	6,260 (97.7)

注：鋳鉄鑄物には、鑄鉄管、可鍛鑄鉄を含む。

表2. 鉄鑄物の生産量推移

単位：千トン、（ ）：対前年比%

年	合 計	鋳鉄鑄物	鑄鉄管	可鍛鑄鉄	鑄 鋼
2000	4,941 (104.2)	3,998 (106.2)	580 (91.3)	98 (96.4)	264 (102.6)
2005	5,036 (103.0)	4,299 (104.8)	403 (88.9)	58 (74.8)	277 (107.1)
2010	4,030 (123.9)	3,469 (132.4)	316 (79.1)	39 (104.9)	207 (104.3)
2013	4,053 (97.5)	3,481 (97.0)	344 (104.1)	46 (124.3)	182 (89.7)
2014	4,058 (100.1)	3,482 (100.0)	360 (104.7)	44 (95.7)	172 (94.5)
2015	3,929 (96.8)	3,331 (95.7)	398 (110.6)	43 (97.6)	157 (91.1)
2016	3,736 (95.1)	3,237 (97.1)	310 (77.9)	41 (95.3)	150 (95.6)
2017	3,887 (104.0)	3,434 (106.1)	249 (80.3)	42 (102.4)	162 (107.9)
2018	3,967 (102.1)	3,511 (102.2)	249 (100.0)	40 (95.0)	168 (103.6)
2019	3,745 (94.4)	3,323 (94.6)	231 (92.7)	38 (94.9)	153 (91.2)

表3. 精密鑄造品・非鉄金属鑄物の生産量推移

単位：トン、（ ）：対前年比%

年	精密鑄造品	銅合金	アルミ鑄物	ダイカスト
2000	7,345 (111.4)	87,093 (105.3)	412,824 (104.6)	833,223 (109.4)
2005	7,380 (97.9)	97,794 (92.7)	412,483 (103.7)	1,064,866 (108.1)
2010	5,899 (136.0)	79,293 (105.3)	386,812 (132.5)	980,850 (129.3)
2013	6,357 (99.4)	73,433 (92.3)	413,804 (98.4)	984,842 (97.9)
2014	6,702 (105.4)	77,113 (105.0)	417,299 (100.8)	1,001,099 (101.6)
2015	5,824 (86.9)	77,884 (101.0)	418,556 (100.3)	977,481 (97.6)
2016	5,441 (93.4)	77,477 (99.4)	423,646 (101.2)	980,413 (100.3)
2017	5,353 (98.4)	75,387 (97.3)	441,837 (104.3)	1,043,558 (106.4)
2018	5,053 (94.4)	74,559 (98.9)	454,069 (102.8)	1,074,522 (103.0)
2019	4,157 (82.3)	70,885 (95.1)	437,496 (96.4)	1,023,184 (95.2)

II. 協会活動の概要

2019 年度は、前年度に引き続き「鑄造産業ビジョン 2017（2017 年 9 月）」が目指すべき姿を実現するためのアクションプランの課題とした「IoT などの新しい技術を取り入れた設備投資とスマートファウンドリーの実現」に向けた検討を行うとともに、前年度からの継続として、①技術開発による商品開発力の向上、②経営基盤強化と健全な取引による事業発展、③同業／異業／地域との積極的な連携による競争力強化、④海外との連携、⑤人材育成の充実、⑥環境・エネルギー対策の強化に基づく事業計画に従って協会事業活動を推進した。

2019 年度の主な事業活動は次のとおり。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、本年 3 月以降における会議等の協会行事が書面審議等を除き中止となった。

1. 「鑄造産業ビジョン 2017」で提唱した IoT 等の推進を図るために、「IoT 推進特別委員会」を 7 名の委員及びアドバイザーで計 5 回開催し、IoT 活用で成果を挙げている企業を訪問する工場見学会やセミナー（IoT LT）をそれぞれ 2 回ずつ企画・開催した。
2. 2020 年度予算・税制要望として政府、鑄物議連等に対して、①取引慣行適正化の推進、②FIT の見直し等のエネルギーコスト拡大の抑制、③外国人技能実習制度の拡充、④中小企業に配慮した人材育成への助成の充実などを要望した。また、電力多消費 10 団体ならびに経団連が合同で「発電側基本料金制度に関する FIT 電源への調整措置について」（FIT 賦課金の抑制）を取りまとめ、政府、国会議員等関係者へ要望した。特定技能外国人制度における問題点などの改善を、自民党政調・外国人労働者等特別委員会（12 月）に要望した。
3. 「未来志向型の取引慣行に向けて（世耕プラン）」では、型取引の更なる適正化のために産学官で構成する「型取引の適正化推進協議会」に鑄造業界から委員を派遣した。2019 年 12 月に型取引の適正化推進協議会報告書が経済産業省より策定され、周知徹底ならびに「型の取扱いに関する覚書」の活用を推進した。
また、「素形材産業の適正取引の推進と生産性・付加価値向上に向けた自主行動計画」（自主行動計画）に基づくフォローアップ調査を実施し、自主行動計画の改定ならびに政府へ素形材産業取引ガイドラインの改訂を要望した。
4. 環境分野では、環境・エネルギー対策としての、CO₂削減に関するアンケートを引き続き実施するとともに、前年度に続いて、省エネセミナー及び省エネ展示会を開催（12 月）し、48 名の参加者があった。
5. 標準化では、「JIS G 5505 CV 黒鉛鑄鉄品」の改正規格を前年度に引き続き検討を行った。同改定規格は 2020 年に発行予定である。「JIS G 5502 球状黒鉛鑄鉄品」の改正規格は、原案作成分科会にて原案作成作業を行い、2020 年度も継続して検討予定である。また、ISO/TC25 国内審議会の活動として第 31 回 ISO/TC25 全体会議及び WG に参加し、討議を行った。鑄造機械でも ISO/TC306 全体会議を日本で開催するとともに、WG1～4 の国際会議に参加した。

6. 人材育成では、将来の鋳物工場の経営者や工場長の育成を目指した鋳造カレッジを関東・東海・関西地区の3ヶ所で、鋳鉄・鋳鋼コースの2コースを開催し、合計75名が受講し、73名が修了した。当協会が認定する鋳造技士は、2019年度で累計999名を認定するに至った。
7. 新入社員を対象とした新人教育研修プログラム「鋳造入門講座（鋳鉄・アルミニウム鋳物コース）」を受講生70名により4月から6ヶ月間実施し、70名全員が修了した。併せて入門講座用テキストの作成を4月より開始した。
8. 課題解決型専門コースである鋳造カレッジ上級コース「鋳鉄材料・砂型コース」を2019年5月～2020年2月まで開講し、13名が受講・修了した。これで上級鋳造技士は、累計100名となる予定。また、これまでに「SEM・EDSの使い方」の講義において受講生から提供された欠陥試料を、同講義でSEMを用いて分析しており、この分析事例を取りまとめた『SEMによる鋳造欠陥の解析事例』を12月に刊行し、これを記念して解説セミナーを開催、66名の参加者があった。
9. 専門研修として、現場技術者及び作業者を対象に、「溶解」と「造型」を含む鋳造の基礎技術に関する「鋳造技術研修会」を、郡山（6月）、東京（11月）、名古屋（3月・中止）において延べ4日開催し、合計58名が受講した。また、精密鋳造技術研修会を東京（7月）で開催し16名が受講、軽合金鋳造技術研修会を東京（9月）で開催し23名が受講したほか、IT化の推進のために「第5回鋳造3D-CAD操作技能研修会」を10月に開催し、9名が受講した。
10. 非鉄金属鋳物分野の交流促進を目的とする非鉄情報交換会・工場見学会を開催した。春季は4月に東京にて「講演会・情報交換会」を実施し、秋季は「GIFA+ドイツ・イタリア工場」の視察を実施した。
11. 設備・原材料分野では、（公社）日本鋳造工学会の全国講演大会において、環境関連機器のカタログ展示や実践的な技術研修会を支援した。また、2020年5月に開催予定の同全国講演大会に併設される展示会（中止）に参加すべく準備を進めた。
12. 国際活動においては、5月のGIFA視察団派遣時にドイツ鋳造協会会長・幹部との交流会を実施した。また、7月にAFF（アジア鋳造会議）に参加するとともに、9月にタイで開催されたAFA（7月AFF時に中国より提唱・初代会長はCFA張会長）のキックオフミーティングに参加した。
13. 地方組織の活性化を推進するため、東海支部、北陸支部、中国四国支部の3支部活動を支援して地域活動を展開した。併せて、島根県鋳造関連産業振興協議会との交流を実施した。
14. 10月に秋季大会講演会を愛知県名古屋市において開催した。また、若手経営者全国大会を9月（愛知県）に講演会・工場見学会、2月（東京都）に講演会を開催した。

Ⅲ. 会議に関する事項

1. 会議に関する事項

本会運営上の基本的な事項及び重要案件を審議決定するため、総会、理事会 5 回、協会役員会 3 回、正副会長会 4 回、監事会 1 回をそれぞれ開催し、事業の円滑な推進を図った。

(1) 社員総会

2019 年 5 月 24 日（金）、機械振興会館に於いて第 7 回社員総会を開催し、次の議案を審議・承認した。委任状を含む出席数は 261 名。

- ① 第 1 号議案 平成 30（2018）年度事業報告（案）に関する件
- ② 第 2 号議案 平成 30（2018）年度収支決算（案）に関する件
- ③ 第 3 号議案 2019 年度事業計画（案）に関する件
- ④ 第 4 号議案 2019 年度収支予算（案）に関する件

(2) 理事会

第 32 回から第 35 回までの合計 4 回の開催と書面審議を行い、協会運営に関する重要事項について審議・決定し、事業の推進を図った。

- ① 第 32 回：2019 年 4 月 25 日（水） 機械振興会館
- ② 第 33 回：2019 年 5 月 24 日（金） 機械振興会館
- ③ 第 34 回：2019 年 10 月 17 日（木） 名古屋観光ホテル
- ④ 第 35 回：2020 年 1 月 22 日（水） 東京プリンスホテル
- ⑤ : 2020 年 3 月 18 日（水） ~~機械振興会館~~（書面審議）

(3) 協会役員会

第 25 回から第 27 回までの合計 3 回を開催し、協会運営に関する重要事項について審議・決定し、事業の推進を図った。

- ① 第 25 回：2019 年 5 月 24 日（金） 機械振興会館
- ② 第 26 回：2019 年 10 月 17 日（木） 名古屋観光ホテル
- ③ 第 27 回：2020 年 1 月 22 日（水） 東京プリンスホテル

(4) 正副会長会

第 73 回から第 76 回までの合計 4 回を開催し、重要案件について審議した。

- ① 第 73 回：2019 年 4 月 25 日（水） 機械振興会館
- ② 第 74 回：2019 年 9 月 3 日（火） 機械振興会館
- ③ 第 75 回：2019 年 12 月 13 日（金） 機械振興会館
- ④ 第 76 回：2020 年 3 月 18 日（水） ~~機械振興会館~~（書面審議）

(5) 監事会

2019 年 4 月 23 日（火）機械振興会館に於いて監事会を開催し、2018（平成 30）年度事業報告書、同収支決算書及び財産目録について監査を行った。

2. 部会に関する事項

(1) 総務部会

田中総務部会長の下に、総務部会を 4 回開催し、本会の財務・経理及び組織・運営（他の部会に属するものを除く）に関する事項について審議した。

- ① 第 1 回 : 2019 年 6 月 5 日（水） 機械振興会館
- ② 第 2 回 : 2019 年 8 月 26 日（月） 機械振興会館
- ③ 第 3 回 : 2019 年 11 月 21 日（月） 名古屋
- ④ 第 4 回 : 2020 年 3 月 4 日（水） ~~機械振興会館~~（書面審議）

(2) 経営部会

大亀経営部会長の下に、経営部会を3回開催し、部会の運営に関する基本的、重要な事項についての検討ならびに会員の企業経営に役立つ情報の提供、行事等の企画・立案について審議した。なお今年度は、「労務費上昇分の転嫁」及び「FITの対応」を重点活動項目として活動を行った。

- ① 第55回：2019年 6月 7日(金) 高崎 昭和電気鋳鋼(株)
- ② 第56回：2019年 8月 26日(月) 機械振興会館
- ③ 第57回：2019年 12月 3日(火) 機械振興会館
- ④ 第58回：2020年 2月 26日(水) ~~機械振興会館~~ (中止・資料送付)

また、業界の動向を把握し、統計データ、最近の鋳造業界動向、原材料副資材コスト動向の会員への情報提供を行った。

(3) 技術部会

金子技術部会長の下に、技術部会を2回開催し、部会の運営に関する基本的、重要な事項についての検討ならびに委員会運営等に関する事項について審議した。

- ① 第1回：2019年 7月 11日(水) 機械振興会館
- ② 第2回：2020年 2月 6日(木) 機械振興会館

(4) 非鉄部会

財部非鉄部会長の下に、非鉄部会を3回開催し、部会の運営方針、鋳造産業ビジョン、鋳造カレッジ非鉄コースの運営ならびに委員会活動に関する事項について審議した。

- ① 第1回：2019年 6月 12日(火) 機械振興会館
- ② 第2回：2019年 8月 9日(火) 機械振興会館
- ③ 第3回：2020年 2月 14日(金) 品川プリンスホテル

(5) 国際部会

稲永国際部会長の下に、国際部会を3回開催し、国際交流、海外視察・調査等に関する事項について審議した。

- ① 第1回：2019年 6月 7日(金) (株)コヤマ
- ② 第2回：2019年 10月 11日(金) 機械振興会館
- ③ 第3回：2019年 12月 20日(金) 機械振興会館

(6) 中小企業部会

谷口中小企業部会長の下に、中小企業部会を3回開催し、本協会の中小企業振興に関する事業、組合に関する事業等について審議した。

- ① 第63回：2019年 6月 18日(火) 機械振興会館
- ② 第64回：2019年 9月 19日(木) 機械振興会館
- ③ 第64回：2019年 12月 4日(水) 機械振興会館
- ④ 第65回：2020年 3月 17日(火) ~~高輪和彊館~~ (中止・資料送付)

(7) 機材部会

大久保機材部会長の下に、機材部会を3回開催し、機材部会としての活動方針・計画等に関する事項について審議した。

- ① 第1回：2019年 6月 4日(火) 機械振興会館
- ② 第2回：2019年 10月 23日(水) 静岡市産学交流センター
- ③ 第3回：2019年 1月 23日(木) 機械振興会館

IV. スマートファウンドリー化の推進（鑄造産業ビジョン 2017）

2017 年 9 月に策定した「鑄造産業ビジョン 2017」が目指すあるべき姿を実現するためのアクションプランの課題として、「IoT などの新しい技術を取り入れた設備投資とスマートファウンドリーの実現」を会員の取組みへの提言として掲げた。この課題実現のための協会の取組みとしては、技術・環境部会及び機材部会においては、既存委員会の重点テーマのひとつに、主に技術面から会員企業のスマートファウンドリー化の推進を掲げ、検討するとともに、2018 年度に続き、鑄造工場の IoT 化を経営戦略の観点から機動的に推進するために、「IoT 推進特別委員会」を開催した。

- (1) 「IoT 推進特別委員会」を 7 名の委員及びアドバイザーで計 5 回開催し、IoT 活用で成果を挙げている企業を訪問する工場見学会ならびにセミナー (IoT LT) をそれぞれ 2 回ずつ企画・開催した。

(2) 審議経緯

- ① 第 1 回：2019 年 5 月 15 日（水） 機械振興会館
工場見学詳細打合せ等
- ② 第 2 回：2019 年 7 月 16 日（火） ZOOM 会議
セミナー (IoT LT) 打合せ等
- ③ 第 3 回：2019 年 7 月 22 日（月） ZOOM 会議
セミナー (IoT LT) 詳細打合せ
- ④ 第 4 回：2019 年 9 月 20 日（金） ZOOM 会議
北海道工場見学内容打合せ等
- ⑤ 第 5 回：2019 年 9 月 25 日（水） ZOOM 会議
北海道工場見学、セミナー (IoT LT) 詳細打合せ等
- ⑥ 第 6 回：2019 年 11 月 28 日（木）、29 日（金） (株)ワールド山内
工場見学会
- ⑦ 第 7 回：2020 年 3 月 16 日（月） セミナー (IoT LT・中止)

(3) 委員会企画行事

- ① 2019 年 6 月 11 日（火）：(株)木村鑄造所 工場見学会
- ② 2019 年 8 月 7 日（水）：鑄造 IoT LT Vol.1（東京開催）
講師・大川真史氏（ウィングアークファースト(株)）
- ③ 2019 年 11 月 28 日（木）：鑄造 IoT LT Vol.2（北海道開催）
講師・菅原のびすけ氏（dotstudio(株) CEO）
- ④ 2020 年 3 月 16 日（月）：鑄造 IoT LT Vol.3（東京開催・中止）

(4) 主な事業活動

- ① (株)木村鑄造所工場見学会
・IoT 推進特別委員会企画として、IoT に特化した工場見学
- ② (株)ワールド山内工場見学
・IoT 推進特別委員会企画として、先進的な IoT 化の工場を見学
- ③ 鑄造 IoT LT
・本家 IoT LT との共同企画として、ライトニングトークイベントを開催（東京・北海道開催）
・YouTube にて希望企業へ配信 (Vol.1)
・エコシステム構築のため、システムエンジニアや研究者等と直接交流

(5) IoT 推進特別委員会委員名簿

委員長	藤原 宏嗣	(アサゴエ工業(株) 代表取締役社長)
副委員長	塩谷 栄治	(石川可鍛製鉄(株) 代表取締役社長)
副委員長	若林 誠	(株)キャスト 代表取締役社長)
委員	明石 隆史	(株)明石合銅 専務取締役)
委員	沖 寿之	(株)木村铸造所 IoT 課)
委員	永森 久之	(錦正工業(株) 代表取締役)
アドバイザー	佐藤 孝造	(佐藤铸工(株) 代表取締役社長)

V. 事業活動に関する事項

1. 大会及び講演会・講習会等の開催に関する事項

(1) 2019 年度秋季大会講演会の開催

2019 年 10 月 17 日 (木)、18 日 (金) 名古屋市にて開催した。

- ① 会場：名古屋観光ホテル
- ② 参加人数：114 名

演 題	講演者
第 I 部「GIFA2019 ツアー報告」 (1) GIFA2019 の模様 (2) 量産コース (3) 非量産コース (4) 非鉄コース	永田 功治 氏 (大鉄産業(株)) 宮川 任臣 氏 (株)コヤマ)、 清原 崇光 氏 (大鉄産業(株)) 山本 賢 氏 (大和重工(株))、 早川 到 氏 (株)協和製作所) 出口 正人 氏 (ヤマハ発動機(株))、 西村 浩治 氏 (ヤマハ発動機(株))
第 II 部「働き方改革への対応方策」	阪尾 進 氏 (阪尾コンサルティング事務所 代表)
第 II 部「铸造カレッジ上級コース 修了者による修了課題の 結果報告」	吉野 創 氏 (株)シオノ铸工)、 水谷 圭司 氏 (株)中部コーポレーション)、 林 誠 氏 (株)中部コーポレーション)
第 III 部「铸造業に係る世界情勢」	稲永 孝 氏 ((一社)日本铸造協会 副会長)
第 IV 部「铸物屋の生き残り戦略」	丹羽 龍 氏 (丹羽铸造(株) 代表取締役社長)

(2) 日本铸造工学会第 173 回全国講演大会における講演 (精密铸造技術委員会)

2019 年 5 月 19 日 (土) 千葉工业大学における第 173 回全国講演大会において、日本铸造工学会 精密铸造研究部会と日本铸造協会 精密铸造技術委員会との合同でオーガナイズドセッション (OS) を開催した。参加人数：約 50 名

- ① 会場：千葉工业大学 (津田沼キャンパス) 第 5 会場
- ② OS テーマ：「铸物品質向上に寄与する精密铸造用各種材料の特性把握」
- ③ オーガナイザー：筑後 一義 (株)IHI)

演 題		講演者・連名者
1	精密鋳造用ワックスの灰分測定	筑後 一義 氏 (株)IHI)、 内藤 亮祐 氏 (株)IHI)
2	ワックス灰分と酸素濃度	石田 昌太郎 氏 (株)ブライソンジャパン)、 本田 昌之 氏 (株)ブライソンジャパン)
3	精密鋳造用ワックスの灰分に 及ぼす測定環境の影響	堀越 三喜夫 氏 (信和産業(株))、 西川 浩二氏 (信和産業(株))
4	3D プリンターを用いた迅速成形 パターンの精密鋳造への適応	相良 宗作 氏 (株)キャストム)、 平野 琢也 氏 (株)キャストム)
5	精密鋳造用鋳型の高温強度特性	齋藤 洋輔 氏 (妙中鋳業(株))
6	精密鋳造鋳型の通気率	内藤 亮祐 氏 (株)IHI)、 筑後 一義 氏 (株)IHI)
7	Ni 基耐熱材大型鋳物の開発	細田 修平 氏 (株)日立メタルプレジジョン)

(3) 2019 年度第 3 回省エネセミナー及び省エネ展示会

2019 年 12 月 5 日 (木) 機械振興会館において、エネルギー削減委員会主催による省エネをテーマにしたセミナーと講演企業各社の製品及びパネル展示会を開催した。参加人数：48 名

演 題		講演企業
1	開会前展示会場視察 各社の製品及びパネル展示	—
2	開会挨拶	—
3	電気炉操業の省エネポイント	富士電機(株)
4	コンプレッサの負荷測定と台数制御技術	北芝電機(株)
5	昼食 (展示会場視察)	コベルコ・コンプレッサー(株)
6	エアリークビューアーMK-750 による空気漏れの可視化と活用法	JFE アドバンテック(株)、 (株)巴商会
7	A C 駆動技術を用いた特殊環境 L E D 照明の開発の紹介	Do ライト(株)
8	サーボシリンダによる省エネ改善	新東工業(株)
9	集塵機省エネ技術	(一財) 省エネルギーセンター
10	無料省エネ診断等省エネ支援サービスの紹介	—
11	閉会後展示会場視察 各社の製品及びパネル展示	—

(4) 若手経営者全国大会の開催

2019 年 9 月 5 日 (木)・6 日 (金) に愛知・岐阜地区で夏季大会 (講演会・工場見学会)、2020 年 2 月 14 日 (金) に東京地区で冬季大会 (素形材団体との交流会) の計 2 回実施した。

① 夏季大会

- a. 講演会：2019年9月5日（木）名古屋観光ホテル
参加人数：140名

演 題	講演者
GIFA2019 報告	若林 誠 氏（㈱キャスト 代表取締役社長）
IoT 推進委員会の活動について	藤原 宏嗣 氏（IoT 推進特別委員会委員長）
未来を見据えたものづくり～IoT を活用したトータルソリューション～	山内 雄矢 氏（㈱ワールド山内 代表取締役）

- b. 工場見学会：2019年9月6日（金） 3コース

- 1) ㈱古久根、㈱半田キャスティング
- 2) ㈱ヤマキ・㈱ニノミヤ
- 3) 丹羽鑄造㈱・鍋屋バイテック会社

② 冬季大会

- a. 講演会：2020年2月14日（金）品川プリンスホテル
参加人数：116名

演 題	講演者
素形材産業の目指す道について	松本 真太郎 氏（経済産業省素形材産業室長）
楽しくなければ仕事じゃない！ －社員を大事にして活かす経営－	山本 昌作 氏（HILLTOP㈱ 代表取締役副社長）

（5）原材料・市場動向説明会

2019年9月19日（木）機械振興会館において、経営部会市場調査委員会主催による原材料・副資材動向説明会を開催した。参加人数：70名

① 内 容：(1)「鑄造鉄源の動向について」

説明者：草野産業㈱ 取締役鑄造営業部長 山下 政博 氏

(2)「鋼材の製造状況について」～鑄造鉄源動向に関して～

説明者：日本製鉄㈱ 名古屋製鋼所製鉄部鑄物鋳室長 横山 隆弘 氏

(3)「2030年世界ライトビークル市場の展望」

～保護主義政策の短期変動リスクと長期的な「成長の源泉」～

説明者：IHS マークイットジャパン マネージャー 西本 真敏 氏

（6）5団体共催セミナー

（一社）日本ダイカスト協会、（一社）日本鍛造協会、（一社）日本鑄鍛鋼会及び高度ポリテクセンター*の5団体合同で、各協会の会員に対して、以下に示す基礎的な研修セミナーを開催した。当協会からは、延べ19名の参加があった。

① 工業・製品図面読み方のポイント

2019年7月30日（火）～ 7月31日（水） 9名

2019年8月29日（木）～ 8月30日（金） 4名 合計13名

② モノづくりに必要な切削加工のいろは-実習で学ぶ旋盤・フライス盤加工鉄鋼編

2019年5月30日（木）～ 5月31日（金） 0名

- ③ モノづくりに必要な切削加工のイロハ-実習で学ぶ旋盤・フライス盤加工
アルミ編
2019年7月18日(木)～ 7月19日(金) 2名
- ④ 鋼の熱処理
2019年7月4日(木)～ 7月5日(金) 2名
- ⑤ 目で見てわかる 生産現場のトラブル事例と解決 Part2
2019年6月26日(水) 2名
- * (独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構 高度職業能力開発促進センター

2. 国際競争力を発揮できる環境の整備に関する事項

(1) 経営基盤強化にかかる政策制度への対応

2019年10月30日(水)に開催された自民党「予算・税制等に関する政策懇談会」において、下記の2020年度の予算・税制要望を行った。

【予算関係】

- ① 電力多消費産業に対する省エネ投資支援施策の特例について
- ② 中小企業に配慮した人材育成等への助成の復活・拡充
- ③ ものづくり・商業・サービス補助金の予算化
- ④ 取引慣行適正化
- ⑤ 経営者保証に関するガイドラインの周知・徹底

(2) 鋳物産業振興議員連盟、日本鋳造産業振興議員連盟等への要望

自由民主党の鋳物産業振興議員連盟(会長：麻生太郎衆議院議員)の総会に併せて情報交換会、旧民進党の日本鋳造産業振興議員連盟(会長：荒井 聡衆議院議員)を以下のとおりそれぞれ実施し、議員連盟及び経済産業省他官公庁への施策・税制要望ならびに情報交換を行った。

① 第19回鋳物産業振興議員連盟(自由民主党)総会・情報交換会

2019年6月19日(水) 12:00～13:10

自由民主党本部 101号会議室

- ・ 参加者：鋳物産業振興議員連盟(麻生太郎会長、田中和徳会長代行、新藤義孝幹事長、坂本哲志事務局長、橘慶一郎事務局次長、他6名)

経済産業省：4名、資源エネルギー庁：3名、中小企業庁：3名、厚生労働省：2名、法務省：1名、金融庁：1名

日本鋳造産業振興する会：伊藤会長、谷口副会長、大久保副会長 他20名

・ 内 容：I.重点要望項目

- 1. 取引慣行適正化の推進
- 2. エネルギーコスト拡大の抑制
 - (1) 再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT)の見直し
 - (2) 原子力発電の安全性を確保した早期再稼働を含めた安価で安定的なエネルギー供給

II. 施策関連要望

- 1. 経営者保証に関するガイドラインの周知・徹底
- 2. 特定技能外国人受入れ制度及び外国人技能実習制度の柔軟な運用

Ⅲ. 予算・税制要望

1. 電力多消費産業に対する省エネ投資支援施策の特例
2. 中小企業に配慮した人材育成等への助成の復活・拡充
3. ものづくり・商業・サービス補助金の拡充について
要望・意見交換会を行った。

② 日本鑄造産業振興議員連盟（旧民進党）意見交換会

2020 年 1 月 22 日（水）11：30～12：15

衆議院第一議員会館 地下 1 階第 4 会議室

- ・参加者：日本鑄造産業振興議員（荒井聡会長、大西健介事務局長、
浜口 誠事務局次長 他 11 名）
経済産業省 3 名、資源エネルギー庁 2 名、中小企業庁 2 名
日本鑄造産業振興する会：伊藤会長、金子副会長、稲永副
会長 他 12 名
- ・内 容（要望事項）

I.再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）の見直しによる買取
価格の抑制や入札制度による競争原理の導入などにより賦課金拡大
の抑制

II. ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金（「もの補
助」）の 2020 年以降の継続的な措置。

III.「未来志向型の取引慣行に向けて」の更なる周知・徹底並びにユー
ザー業界の自主行動計画の着実な実行とフォローアップの実施な
ど、取引慣行適正化の継続的な支援

③ 自民党政調・外国人労働者等特別委員会

2019 年 12 月 3 日（火）の自民党政調・外国人労働者等特別委員会にお
いて、特定技能外国人制度における問題点や要望事項について、協会会員
企業からヒアリングした内容を鈴木専務理事より報告した。

3. 鑄造業の経営改善・振興対策、その他に関する事項

（1）取引条件適正化の推進

- ① 安定供給のために、現状の人手不足・人材確保の厳しい現状や働き方改革
への対応ならびに労務費上昇分の転嫁が厳しいことから会長名文書「健全
な取引ならびに安定供給に向けたお願い」（鑄鉄・非鉄版）を、2019 年 12
月に発行した。
- ② 素形材産業の適正取引に係るフォローアップ調査（経産省素形材産業室）
を 10 月に実施し、2019 年 11 月 27 日（水）の第 8 回取引問題小委員会に
おいて、鈴木専務理事が鑄造協会を含む素形材産業のフォローアップ調査
の概況を報告・説明した。
- ③ 型取引の適正化推進協議会報告書について、素形材産業室による説明会を
経営部会、組合代表者会、量産鋳鉄鑄物委員会で実施した。
- ④ 協会 HP のトップページの取引の取引適正化情報の関連リンク集を適宜更
新の上、周知を徹底した。

（2）再生可能エネルギー固定買取制度対応について

- 電力多消費団体協同要望の実施

電力多消費 10 団体ならびに経団連が合同で「発電側基本料金制度に関す

る FIT 電源への調整措置について」(FIT 賦課金の抑制) を取りまとめ、関係機関、関係者へ要望した。

(3) 働き方改革に関する対応について

以下の説明会を開催した

① 組合代表者会 2019 年 6 月 18 日 (火)

演 題:「働き方改革関連法と求められる対応」

講 師: 阪尾コンサルティング事務所代表 阪尾 進 氏 参加人数: 30 名

② 秋季大会 名古屋開催 2019 年 10 月 18 日 (金)

演題・講師 上記同様 参加人数: 114 名

(4) 新型肺炎・コロナウィルスの影響に伴う政府の支援等について

資金繰り支援、雇調金の特例等を協会 H P のお知らせのトップページに随時更新のうえ周知徹底した。

4. 同業との連携に関する事項

(1) 量産銑鉄鋳物委員会 (委員長 竹内 英貴)

量産銑鉄鋳物企業による市場情報、経営状況、経営課題等の情報交換を目的に 4 回開催した。

① 第 45 回: 2019 年 6 月 14 日 (金) 機械振興会館

② 第 46 回: 2019 年 9 月 13 日 (木)、14 日 (金) 長野 (株)コヤマ見学

③ 第 47 回: 2019 年 12 月 6 日 (金) 機械振興会館

④ 第 48 回: 2020 年 3 月 5 日 (木)、6 日 (金) 茨城県日立市
(株)HTT 北茨城工場見学 (中止)

(2) 非量産銑鉄鋳物委員会 (委員長 友廣 和照)

非量産銑鉄鋳物企業による市場情報、経営状況、経営課題等の情報交換を目的に 3 回開催した。

① 第 33 回: 2019 年 7 月 19 日 (金) 機械振興会館

② 第 34 回: 2019 年 10 月 23 日 (木)、24 日 (金) 北海道
佐藤鋳工(株)見学

③ 第 35 回: 2020 年 2 月 28 日 (金) ~~機械振興会館~~ (中止)

(3) 精密鋳造経営委員会 (委員長 上田 敬介)

① 第 57 回: 2019 年 6 月 19 日 (水) 機械振興会館

② 第 58 回: 2019 年 9 月 26 日 (木)、27 日 (金) 福山
(株)カスタム、(株)北川鉄工所見学

③ 第 59 回: 2019 年 12 月 10 日 (火) 機械振興会館

④ 第 60 回: 2020 年 3 月 11 日 (水) ~~機械振興会館~~ (中止)

(4) 非鉄部会情報交換会

① 第 13 回: 2019 年 4 月 19 日 (金) 参加人数: 30 名

働き方改革、入管法改正等についての情報提供及び「働き方改革よりも働きがい改革を!!」と題した大塚徹講師による講演会を行った。

* 秋季は GIFA 視察をもってこれに代えた。

5. 調査研究に関する事項

(1) 市場調査委員会 (委員長 草野 泰道)

① 第 24 回: 2019 年 6 月 7 日 (金) 高崎ワシントンホテルプラザ

② 景況調査

鑄造業界の動向を把握するために、会員 50 社を対象とした毎月調査及び会員 300 社を対象とした四半期調査（6、9、12、3 月）を実施した。

【調査項目】

- a) 製品別生産量・生産金額、都道府県別生産量・生産金額、従業員数の統計調査
- b) 原材料、副資材価格動向調査
- c) 景況調査
- d) 倒産、転業、廃業、休業調査
- e) 需要予測調査
- f) 景況悪化に伴う生産動向、雇用状況、資金繰り状況の調査
- g) ユーザー業界の生産動向
- h) 取引改善（世耕プラン）に関し一年の総括調査

6. 鑄造業に係る施策・税制等の要望・陳情に関する事項

令和 2 年度予算・税制等要望として、6 月に自由民主党の鑄物産業振興議員連に対して、10 月に自由民主党の「予算・税制等に関する政策懇談会」に対して鑄造業界の要望を行った。（詳細は、前掲 2. 国際競争力を発揮できる環境の整備」を参照）

7. 中小企業振興に関する事項

（1）組合代表者会・事務局長会の活動（委員長 中小企業部会長 谷口 仁志）

- ① 第 47 回：2019 年 6 月 18 日（火）機械振興会館
- ② 第 48 回：2019 年 9 月 19 日（木）機械振興会館
- ③ 第 49 回：2019 年 12 月 4 日（水）機械振興会館
- ④ 第 50 回：2020 年 3 月 17 日（火）~~高輪和彊館~~（中止）

代表者会中止に伴い緊急の組合情報交換を書面で実施

（2）組合事務局長会（単独開催）

2019 年 11 月 1 日（金）、2 日（土）ホテル金沢（石川開催）

石川可鍛製鉄(株)見学

（3）若手経営者委員会（委員長 富田 康裕）

若手経営者委員会を 3 回開催し、若手経営者全国大会（夏・冬）の企画・運営他に関し審議した。

- ① 第 50 回：2019 年 5 月 31 日（金）機械振興会館
- ② 第 51 回：2019 年 12 月 12 日（木）、13 日（金）島村工業(株)（千葉）見学
- ③ 第 52 回：2020 年 3 月 13 日（木）、14 日（金）~~広島開催~~（中止）

（4）中小企業部会だよりの発行

組合員を対象に中小企業部会だよりを毎月計 12 回発行した。

8. 非鉄金属鑄物に関する事項

（1）軽合金委員会（委員長 田島 正明）

- ① 第 1 回：2019 年 10 月 8 日（火）東京・八重洲 参加人数：17 名
- ② 第 2 回：2020 年 3 月 25 日（水）~~東京・八重洲~~（中止）

（2）若手幹部候補者育成

- ① 2019 年 7 月 25 日 (木) (株)イチタン・幹事工場見学 参加人数：7 名
 - ② 2019 年 10 月 11 日 (金) 非鉄若手工場見学会打合せ 機械振興会館
参加人数：5 名
 - ③ 2019 年 11 月 29 日 (金) (株)田島軽金属・工場見学 参加人数：20 名
- (3) 非鉄情報交換会
前掲 4.同業との連携に関する事項 (4) 参照

9. 技術開発に関する事項

(1) キュポラ操業研究委員会 (委員長 米田 博幸)

テーマ：キュポラ溶湯の特性調査

- ① 第 1 回：2019 年 6 月 13 日 (木) 機械振興会館 出席者 9 名
- ② 第 2 回：2019 年 9 月 5 日 (木) 機械振興会館 出席者 11 名
- ③ 第 3 回：2019 年 12 月 18 日 (水) 機械振興会館 出席者 14 名
- ④ 第 4 回：2020 年 2 月 19 日 (木) 機械振興会館 出席者 12 名

(2) 電気炉操業研究委員会 (委員長 林 静男)

テーマ：溶解炉の IoT 他

- ① 第 1 回：2019 年 6 月 21 日 (金) 機械振興会館 出席者 18 名
- ② 第 2 回：2019 年 9 月 17 日 (金) 機械振興会館 出席者 16 名
- ③ 第 3 回：2019 年 12 月 11 日 (水) 機械振興会館 出席者 19 名
- ④ 第 4 回：2020 年 2 月 5 日 (金) 機械振興会館 出席者 17 名

(3) 鋳型技術委員会 (委員長 間瀬 和行)

テーマ：鋳物砂に関する最新情報の提供及び討議

- ① 第 1 回：2019 年 6 月 14 日 (金) 機械振興会館 出席者 18 名
- ② 第 2 回：2019 年 8 月 23 日 (金) 新東工業(株) 出席者 18 名
- ③ 第 3 回：2019 年 11 月 8 日 (金) 機械振興会館 出席者 16 名
- ④ 第 4 回：2020 年 2 月 21 日 (金) 機械振興会館 出席者 17 名

(4) 精密鋳造技術委員会 (委員長 細田 修平)

テーマ：精密鋳造用ワックスの規格化他

(公社) 日本鋳造工学会精密鋳造部会との共同開催で実施した。

() 内は鋳造協会委員数

- ① 第 1 回：2019 年 5 月 17 日 (金) 機械振興会館 出席者 19 名 (9 名)
- ② 第 2 回：2019 年 8 月 30 日 (金) 機械振興会館 出席者 17 名 (9 名)
- ③ 第 3 回：2019 年 11 月 29 日 (金) 機械振興会館 出席者 17 名 (9 名)
- ④ 第 4 回：2020 年 2 月 28 日 (金) ~~機械振興会館~~ (中止)

※2017 年より、約 3 年をかけ『インベストメント鋳造用語辞典』が完成した。

(5) 銅合金技術委員会 (委員長 丸山 徹 (関西大学))

テーマ：青銅合金の金型鋳造他

- ① 第 1 回：2019 年 7 月 12 日 (金) 機械振興会館 出席者 31 名
- ② 第 2 回：2019 年 10 月 4 日 (金) 機械振興会館 出席者 25 名
- ③ 第 3 回：2019 年 12 月 13 日 (金) 機械振興会館 出席者 25 名
- ④ 第 4 回：2020 年 3 月 11 日 (金) ~~機械振興会館~~ (中止)

10. 環境に関する事項

(1) エネルギー削減委員会（委員長 西谷 俊二）

- ① 第1回：2019年 5月 10日（金） 鋳造協会会議室 出席者 8名
- ② 第2回：2019年 8月 2日（木） 機械振興会館 出席者 10名
- ③ 第3回：2019年 11月 27日（水） 機械振興会館 出席者 9名
- ④ 第4回：2019年 12月 5日（木） 鋳造協会会議室 出席者 9名
※2019年度第3回省エネセミナー及び省エネ展示会 参加人数：48名
- ⑤ 第5回：2020年 1月 30日（水） 東京ビッグサイト会議室 出席者 11名
※ENEX 2020 視察

11. 指導・教育・人材育成に関する事項

(1) 人材育成特別委員会

- ① 第1回：2019年 7月 22日（月） 機械振興会館 出席者 6名
- ② 第2回：2020年 3月 3日（金） ~~機械振興会館~~（中止）

(2) 鋳造カレッジ企画運営委員会（日本鋳造工学会人材育成委員会との合同）

- ① 第34回：2019年 5月 15日（水） 機械振興会館 出席者 22名
- ② 第35回：2020年 3月 3日（火） ~~機械振興会館~~（中止）

(3) 鋳造カレッジ現地責任者会議

- ① 第27回：2019年 9月 9日（月） 機械振興会館 出席者 13名
- ② 第28回：2019年 12月 20日（金） 機械振興会館 出席者 12名

(4) 鋳造カレッジ・上級コース「鋳鉄材料・砂型コース」委員会

- ① 第1回：2019年 6月 1日（土） 機械振興会館 出席者 11名
- ② 第2回：2020年 2月 22日（土） 機械振興会館 出席者 11名

(5) 鋳造カレッジ・上級コース砂型科目テキスト編集委員会

- ① 2019年 5月 11日（土） 機械振興会館 出席者 7名

(6) 新人教育研修プログラム委員会

- ① 第1回：2019年10月 28日（月） 機械振興会館 出席者 9名
- ② 第2回：2020年 2月 26日（水） ~~機械振興会館~~（中止）

(7) 鋳造入門講座テキスト編集委員会

- ① 2019年 4月 2日（火） 機械振興会館 出席者 12名

(8) 鋳造技術研修会

- ① 第1回：2019年 6月 14日（金）～ 15日（土） 郡山 出席者 30名
- ② 第2回：2019年 11月 16日（金）～ 17日（土） 東京 出席者 28名
- ③ 第3回：2020年 3月 6日（金）～ 7日（土） ~~名古屋~~（中止）

(9) 精密鋳造技術研修会

- ① 第1回：2019年 7月 18日（木）～ 19日（金） 東京 出席者 16名

(10) 軽合金鋳造技術研修会

- ① 第1回：2019年 9月 6日（金）～ 7日（土） 東京 出席者 23名

(11) 鋳鉄鋳物 Q&A 集編集委員会

- ① 第3回：2019年 5月 13日（月） 機械振興会館 出席者 10名
- ② 第4回：2019年10月 21日（月） 機械振興会館 出席者 9名
- ③ 第5回：2020年 2月 17日（月） 機械振興会館 出席者 10名

(12) 鑄造技能研修会

中小企業の技術力の向上を図るために、会員企業が必要としている技術的
案件に関する「重点テーマ」を取り上げ、現場技術者及び作業者を対象に短
期間の専門技能研修会を行い、技術力の底上げを図った。

① 第5回 3D-CAD 技能研修会（1回（2日間））

2019年10月25日（金）～26日（土）に機械振興会館において、第5回
鑄造用 3D-CAD 操作技能研修会を次のとおり開催した。 参加人数：9名

コース	内 容	講習時間
2D/3D 標準基礎教育	・ 基本操作：メニュー、画面操作、ビュー、座標系 ・ 基本作図・モデリング：ソリッドモデリング、レイアウト作成、サーフェスの基本 ・ 編集機能：形状修正、変形、複写・移動 ・ 便利機能：マスク、断面、計測、マスプロパティ	1日目 10:00～17:00
3D 鑄造特有の操作 や効率的な運用	・ 中間フォーマット取込み ・ 完品モデルから素材モデルへの展開 ・ 鑄造方案作成：湯道、押湯、スリーブ、冷金 など ・ 3D-CAD習得後の応用例の紹介	2日目 9:30～17:00

(13) 鑄造欠陥事例集編集委員会（委員長 米田 博幸）

鑄造カレッジ・上級コースの講座の中で収集した各受講企業からの持ち
寄り欠陥試料分析データをもとにした鑄造欠陥事例集を発行するために、
欠陥事例集編集委員会を設置して活動を行い、12月に『SEMによる鑄造欠
陥の解析事例』を刊行した。

- ① 第6回：2019年4月20日（土） 機械振興会館 出席者 7名
- ② 第7回：2019年6月19日（水） 機械振興会館 出席者 8名
- ③ 第8回：2019年8月26日（月） 機械振興会館 出席者 8名
- ④ 第9回：2019年11月1日（金） 機械振興会館 出席者 8名

(14) 『SEMによる鑄造欠陥の解析事例』発刊記念の解説セミナーを開催した。

- ① 第1回：2019年12月2日（月） 機械振興会館 参加人数：66名
- ② 第2回：2020年3月13日（金） ~~大阪 I-site なんば~~（中止）

1 2. 鑄造技士会活動に関する事項

鑄造カレッジを一定の成績で終了した受講生に対する協会認定制度「鑄造
技士（Foundry Expert）」は、2018年度で923名を認定するに至った。この
鑄造技士の技術のさらなる向上とネットワークを維持強化するための組織と
して、鑄造カレッジの6つの開催地区ごとに鑄造技士会を設立している。

2019年度の各地区鑄造技士会の活動概要は次の通り。

(1) 東海鑄造技士会

- ① 2019年 10月 16日（水） 運営委員会 出席者 10名
- ② 2019年 11月 8日（金） 鍋屋バイテック工場見学 参加人数：44名

(2) 関西鑄造技士会

2020年 3月 27日（金） 講演会 ~~I-site なんば~~（中止）

(3) 中国四国鑄造技士会

- ① 2019年 4月 11日（金） 総会、講演会 参加人数：20名
- ② 2019年 10月 11日（金）～12日（土） たたら操業体験 参加人数：15名

1 3. 標準化に関する事項

(1) 標準化委員会（委員長 岡田 和彦）

JIS 及び ISO に関する審議を行った。

「JIS G5502 球状黒鉛鋳鉄品」の作成（JIS G 5502 分科会開催）

第 1 回	： 2019 年	4 月 11 日（木）	機械振興会館	出席者	8 名
第 2 回	： 2019 年	5 月 28 日（火）	機械振興会館	出席者	7 名
第 3 回	： 2019 年	6 月 17 日（月）	機械振興会館	出席者	7 名
第 4 回	： 2019 年	7 月 9 日（火）	機械振興会館	出席者	6 名
第 5 回	： 2019 年	8 月 9 日（金）	機械振興会館	出席者	4 名
第 6 回	： 2019 年	8 月 26 日（月）	機械振興会館	出席者	4 名
第 7 回	： 2019 年	9 月 6 日（金）	機械振興会館	出席者	6 名
第 8 回	： 2019 年	9 月 12 日（木）	機械振興会館	出席者	6 名
第 9 回	： 2019 年	10 月 3 日（木）	機械振興会館	出席者	5 名
第 10 回	： 2019 年	11 月 25 日（月）	機械振興会館	出席者	4 名
第 11 回	： 2020 年	3 月 9 日（月）	機械振興会館	（中止）	
第 12 回	： 2020 年	3 月 19 日（木）	機械振興会館	（中止）	

(2) ISO/TC25 国内審議委員会（委員長 浅野 和典）

ISO/TC25 の規格改定等に関する審議を行った。

- ① 第 1 回：2019 年 11 月 20 日（水） 機械振興会館 出席者 6 名
- ② ISO/ TC25 本会議及び WG 会議は、2019 年 12 月 3 日～5 日にロンドンで開催された。浅野新委員長及び清水旧委員長が参加した。
WG 7 （オースフェライト鋳鉄）
WG 16 （材料の設計とデザイン）
ISO / TC 25 全体会議 鋳鉄&鋁鉄
- ③ 第 2 回：2020 年 1 月 17 日（金） 機械振興会館 出席者 7 名

(3) ISO/TC306 国内審議委員会（委員長 橋爪 政治）

1 4. (1) を参照

1 4. 設備・原材料等に関する事項

(1) ISO/TC306 国内審議委員会（委員長 橋爪 政治）

ISO/TC306（鋳造機械規格）の国際規格制定等に関する国際 WG 会議への参加

- ① 2019 年 4 月 23 日：WG1 の電子投票対応
- ② 2019 年 5 月 16 日：5 月末開催の WG1 及び WG4 のミラノ国際会議対応
- ③ 2019 年 5 月 30 日：WG1 及び WG4 のミラノ国際会議
- ④ 2019 年 7 月 17 日：騒音勉強会、WG4 9 月初旬開催の香港国際会議対応
- ⑤ 2019 年 9 月 5～6 日：WG4 の香港国際会議対応
- ⑥ 2019 年 9 月 27 日：同上報告会、10 月末開催の日本国際会議対応
- ⑦ 2019 年 10 月 23 日：機材部会での近況報告
- ⑧ 2019 年 10 月 29～31 日：日本国際会議、WG1～WG4 の国際会議
- ⑨ 2019 年 12 月 15 日：機材部会への近況報告
- ⑩ 2019 年 1 月 27 日：3 月初旬開催の WG1 の電子投票と、3 月末開催のミラノ国際会議対応

- ⑪ 2019 年 3 月 24～25 日：WG4 のミラノ国際会議（延期）
- ⑫ 2019 年 3 月 26～27 日：WG1 の Web 会議

1 5. 国際交流に関する事項

（1）国際会議・海外セミナー等への参加

① 海外協会との交流

- 1) 2019 年 6 月 27 日・28 日 GIFA 視察／7 月 1 日～3 日工場視察団を派遣
 - ・ GIFA 視察団は 94 名の会員が参加した。
 - ・ GIFA では、ドイツ鑄造協会（BDG）主催のもと当協会幹部との交流会が開催され、視察団からも 75 名の会員が参加した。
 - ・ 工場視察では、当協会の量産グループ 26 名及び非量産グループ 24 名の会員がスペイン鑄造協会（FEAF）アレンジによるバスク地方の 1 研究所と、両グループでそれぞれ 4 つの鑄造工場の見学を行った。また、非鉄グループ 18 名の会員がイタリア・ミラノ近郊、ドイツ・ミュンヘン近郊での工場見学及びドイツ鑄造協会紹介によるアーヘンでの研究所と近郊の鑄造工場の見学を行った。
 - ・ スペイン鑄造協会関係の幹部を招いた交流の夕食会を開催した。
- 2) 2019 年 7 月 19 日 アジアファンドリーフォーラム AFF に参加
AFF では、中国協会 CFA が提唱するアジア鑄造協会 AFA への事前打合せとともに、当協会からは従来の国際ルールを順守した相互工場見学による交流の活性化に加えて、①アジアならびにその新興国の鑄造市場を健全にする、②アジア全域の鑄造業のクリーン化を推進する、③AFA の運営運用は必要最低限にする、といった 3 つの項目を提唱して参加各国からの賛意を得た。
- 3) 2019 年 9 月 19 日 AFA のキックオフに参加
 - ・ 中国、インド、日本、韓国、台湾、香港、モンゴル、タイ、ベトナム、マレーシア、インドネシア、パキスタンの初期メンバー 12 の国及び地域の協会の会長が AFA の輪番会長候補として設立の署名をした。
 - ・ 初代会長には張 CFA 会長が就任した。執行委員は CFA から 5 名、香港とパキスタンから各 5 名、マレーシアとモンゴルから各 4 名、インドから 2 名、インドネシアから 1 名の計 26 名が推薦された。事務局は CFA から局長 1 名、副局長 5 名（執行委員兼）、事務局 1 名の体制となった。
- 4) 第 10 回国際精密鑄造セミナーへの参加
- 5) 第 16 回中国精密鑄造会議への参加

② 海外からの工場見学の受入

- 1) 2019 年 11 月 25（月）～28 日（木）スペイン協会量産工場視察団受入
15 名の量産視察団を㈱IJTT、森川産業㈱、㈱コヤマ、アイシン高丘㈱、中央可鍛工業㈱の 5 社が受け入れた。
- 2) 2019 年 12 月 3 日（火）～5 日（木）中国 CFA 工場視察団受入
15 名の視察団を新東工業㈱（豊川・幸田）、伊藤鉄工㈱、㈱カスタムの 3 社が受け入れた。

1 6. 労働安全衛生に関する事項

鋳造業における安全衛生対策の推進のため、リスクアセスメントの普及活動として、（一社）日本鋳鍛鋼会、（一社）日本ダイカスト協会及び（一社）日本鍛造協会と合同で研修会打合せを開催した。

1 7. 表彰に関する事項

○ 協会賞の募集・選考・表彰

日本鋳造協会の協会賞として、12月に協会功労賞、経営改善賞、技術賞、技術開発賞の募集を行い、3月に選考を行った。また、2018年度に決定した下記受賞者の表彰式を5月の総会後に開催した。

＜技術賞＞

① 川島 浩一氏（株）マツバラ）

＜小林英三賞＞

① 石川 義明氏（石川金属機工(株)）

② 小林 秀二氏（株）小林鋳造所）

1 8. 広報、普及啓蒙及び情報資料の提供に関する事項

（1）機関誌「鋳造ジャーナル」の発行

編集委員会を毎月開催し、機関誌「鋳造ジャーナル」を毎月、12回発行した。また、協会HPに鋳造ジャーナルの目次を掲載した。

（2）協会ホームページによる情報提供

協会HPの会員専用ページとEメールを活用し、各種情報の迅速な提供を行い情報発信の強化を図った。

（3）最近の鋳造業界動向の発行

当協会の四半期調査、毎月調査及び鋳造に関連する公的統計から鋳造業界に関する動向をまとめた「最近の鋳造業界動向」を毎月発行した。

（4）その他広報事業

① 新聞・雑誌等に業界PR記事の提供

報道機関に対する広報活動として、日本経済新聞、日刊工業新聞、鉄鋼新聞他の専門紙の担当記者へのプレスリリースを行い、資料の提供等取材に協力した。

② 需要業界における各種調査研究資料の収集と提供を行った。

③ 経済産業省等関係官庁からの公報・情報収集活動と会員への提供を行った。

④ その他、業界発展のための広報・情報活動を行った。

（5）普及啓蒙事業

① 経営、技術及び海外情報に関する相談業務を行った。

② 新技術開発・新製品開発に関する紹介を行った。

③ 小中高生の鋳物工場見学受け入れ、鋳物教室開催などを行った。

（6）その他情報の提供

① 法律、制度、経営、技術及び労働に関する情報の提供を行った。

② 会員（賛助会員を含む）に関する情報の提供を行った。

③ 内外の関係情報の提供を行った。

19. 会員の催物に対する協力及び協賛に関する事項

- (1) 経営、技術、労務関係、教育図書及び文献及び視聴覚教育資料の斡旋をした。
- (2) 工場視察及び見学会の斡旋をした。
- (3) 記念行事、催物における表彰状若しくは感謝状の授与を行った。
- (4) 会員主催の行事、催物等への協賛ならびに参加した。

20. その他本協会の目的を達成するために必要な事項

以上の他、定款の目的に沿った各種事業を行った。

VI. 支部・地域活動、地方組織に関する事項

1. 東海支部

- (1) 支部総会を2019年4月16日（火）に「名古屋国際会議場」にて開催。支部役員会を2019年4月16日（火）及び2020年2月14日（金）の2回開催し、併せて本部活動報告を2回実施。講演会は総会時に1回、地区内及び地区外の工場見学会を開催した。
- (2) 支援事業として、東海鑄造技士会活動に支部として協力した。また、日本鑄造工学会東海支部の講演会・講習会・工場見学会に協賛した。

2. 北陸支部

支部総会を2019年4月24日（水）に「ホテル日航金沢」にて開催。支部役員会を2020年2月21日（金）に開催し、併せて本部活動報告を実施。講演会は総会時に開催。また、勉強会、技術講習会、工場見学会を日本鑄造工学会北陸支部と共催した。

3. 中国四国支部

支部総会を2019年4月11日（木）に「ホテルセンチュリー21 広島」にて開催。支部役員会を2019年4月11日（木）、8月7日（水）、11月28日（木）及び2020年2月13日（木）の4回開催し、併せて本部活動報告を1回実施した。講演会は総会時及び11月28日（木）に開催した。また、教育事業、鑄造技士会（中四国地区）の活動を支援した。

4. その他の地域

(1) 関東地区

2019年11月21日（木）埼玉県及び川口鑄物工業協同組合主催の埼玉県鑄造技術コンクールの表彰式において、協会賞を贈呈した。

VII. 関係官庁への協力に関する事項

1. 適正取引推進のための各種委員会への委員推薦・出席

(1) 型取引の適正化推進協議会

新たな型取引の規範となる基本的な考え方や契約のひな型作成のため産官学による「型取引の適正化推進協議会」ならびに作業部会に藤原協会役員、目安分科会に田島協会役員が委員として参加した。

- ・ 型取引の適正化推進協議会
 - 第1回：2019年 8月 6日（火）
 - 第2回：2019年 9月 30日（月）
 - 第3回：2019年 10月 18日（金）
- ・ 作業部会
 - 第1回：2019年 8月 23日（金）
 - 第2回：2019年 9月 5日（木）
 - 第3回：2019年 9月 13日（金）
- ・ 目安分科会
 - 自動車関連
 - 第1回：2019年8月29日（木）
 - 第2回：2019年9月19日（木）
 - 産業機械関連
 - 第1回：2019年8月29日（木）
 - 第2回：2019年9月20日（金）
 - 電気・電子情報関連
 - 第1回：2019年8月28日（水）
 - 第2回：2019年9月19日（木）

(2) 素形材産業取引適正化委員会

型取引の適正化推進協議会における報告書の内容や社会情勢変化にあたる諸問題（①働き方改革のしわ寄せ防止、②運送費等の価格転嫁、③BCP対応におけるコスト負担・取引先の協力など）等について、素形材産業取引ガイドラインへの位置づけと記載の追加等の審議のため、委員会・作業会合に伊藤会長、鈴木専務理事が委員として参加した。

- ・ 素形材産業取引適正化委員会
 - 第1回：2020年2月12日（水）
 - 第2回：2020年3月11日（水）（中止）
- ・ 作業会合
 - 第1回：2020年2月17日（金）
 - 第2回：2020年3月 2日（月）（中止）

(3) 中小企業政策審議会中小企業経営支援分科会取引問題小委員会

2019年11月27日（水）中小企業政策審議会中小企業経営支援分科会及び第8回取引問題小委員会において、鈴木専務理事が鋳造業界を含む素形材業界の自主行動計画フォローアップアンケートの調査結果の概要について報告した。

2. 特定技能外国人材関係

製造業特定技能外国人材受入れ協議・連絡会

第2回：2019年10月3日（木）、第3回：2020年2月7日（金）にそれぞれ事務局が参加した。

3. 中央技能検定委員の推薦

委員更新年でないため、推薦はない。

4. 「中小企業経営強化法」関連の証明書発行

中小企業等経営強化法の設備に係る仕様等証明書の発行を行った。（144件）

VIII. 関係団体との交流に関する事項

1. 素形材関連団体連絡会

素形材に関する交流促進や普及啓発を議論し実施する場として、(一財)素形材センターが主催する素形材団体交流委員会に鈴木専務理事が委員として出席した。

2. 素形材産業優良従業員表彰委員会

(一財)素形材センターが主催する素形材産業優良従業員表彰委員会に、鈴木専務理事が委員として出席した。

3. 鋳物関連団体への協力

- (1) (公社)日本鋳造工学会の春・秋季大会、各支部におけるセミナー、工場見学会の後援をした。
- (2) (一財)素形材センターの素形材月間事業(11月)への後援をした。
- (3) 島根県鋳造関連産業振興協議会総会(7月・松江市)に鈴木専務理事が出席し、2019年度の当協会の活動概要を報告した。

IX. 会員及び組織に関する事項

1. 組織拡充強化に関する事項

- (1) 未加入の企業、組合の正会員の加入を促進した。(法人正会員6社加入)
- (2) 本協会の目的・事業に協力いただく賛助会員の加入を促進した。(2社加入)

2. 会員及び組織に関する事項

- (1) 正会員及び賛助会員(2020年3月31日現在)
 - ① 法人正会員 341社
 - ② 団体正会員 33組合(482社)
 - ③ 賛助会員 47社
- (2) 理事・監事・協会役員・顧問・参与名簿(別紙1参照)
- (3) 協会事業運営組織図(別紙2参照)
- (4) 部会委員・支部長名簿(別紙3参照)
- (5) 協会事務局組織図(別紙4参照)
- (6) 協会活動状況一覧表(別紙5参照)